

学校法人東洋大学  
理事長  
福川伸次



「人間と協調」の世紀において  
世界を舞台に活躍する  
グローバル人材の育成を

哲

学教育を通じ、社会の発展に奉仕する優れた人材を育成することを目的に、哲学者の井上円了によって創立された本学は、昨年、創立125周年を迎えました。「諸学の基礎は哲学にあり」という建学の精神のもと、今後、よりいっそう教学・研究面の水準を高めていきたいと考えています。私は20世紀が「技術と対立」の世紀だったのに対し、21世紀は「人間と協調」の世紀だと考えています。歴史的に文明のリード役が地球を一周した今、人間の文明も世界共通の基盤ができたといえます。人々の価値観は異なった文化や思想をもちながらも、共通基盤をもつことによる「協調」に移っていくでしょう。それに伴い、人々の関心は、精神的

な充実、倫理の重視、文化の尊重、人類愛など、「人間」の価値をいかに高めるかというテーマに移ると思います。

そのためには「考える」という行為が不可欠です。知を高め、考える訓練を積み、新しいものを創りあげること、世界を舞台に活躍するグローバル人材に成長していくのです。

そう考えると、「自分の哲学をもつ」「本質に迫って深く考える」「主体的に社会の課題に取り組み」という本学の教育理念が、今という時代に求められていることに改めて気づかされます。

本学は今後、教育理念のいっそうの進化を図りながら、教学、研究、スポーツ、品格などの面においてトップ・クラスを目指していきます。特に、「哲学教育」

「グローバル教育」「キャリア教育」を、東洋大学成長のための3本の矢とらえ、役員、教職員を問わず、危機意識を共有しながら、改革に向けての議論を高め、行動に移していく決意です。

本学のブランド力を高めるうえで重要なことは、時代の要請にこたえた教学の充実と研究の促進です。社会のニーズに即した柔軟な学部学科の再編成、外国人を含む優秀な教員の採用、教員と学生との交流の濃密化、経済界との連携強化、インターンシップの充実、研究開発における産学連携の拡充などに取り組みます。グローバル教育では、全学生にTOEIC®テストを受験させ、英語による授業を拡充し、海外とのコミュニケーション力を飛躍的に伸ばします。海外への留学生を増加し、海外からの留学生の受け入れも拡大し、青年海外協力隊への参加や海外研修など海外でのフィールドワークの機会も増やします。また、国際関係研究、アジア研究を充実させ、特色ある知的リード分野を複数確立します。

本学には、共通の理念のもとで中学校・高等学校を含む一貫教育を行う総合学園としてのメリットがあります。これを生かしつつ、世界に羽ばたく人材を世に送り出したいと考えています。

【理事長プロフィール】ふくかわ・しんじ●1932年生まれ。1955年通商産業省入省、86年通商産業事務次官を経て、90年株式会社神戸製鋼所代表取締役副社長。94年株式会社電通顧問、株式会社電通総研代表取締役社長兼研究所長。2003年学校法人東洋大学理事。12年12月より現職。

【大学プロフィール】1887年創立。文学部、経済学部、経営学部、法学部、社会学部、理工学部、国際地域学部、生命科学部、ライフデザイン学部、総合情報学部、食環境科学部の11学部44学科。このほか、大学院10研究科29専攻および法科大学院、4高校、1中学校、1幼稚園を有す。